

英語 I

担当教員 カレン ルパードス

配当年次 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

関連資格

備考 企シ（火・金1校時）、産情（火・金2校時）

【授業のねらい】

The basic purpose: to provide students with materials & structured opportunity for learning & using English, thus enabling each student to develop confidence and awareness of improvement through successful achievement of self-determined goals. Students will be subjected to the discipline and requirements of job-performance within a class-room situation. Class is conducted in English.

【授業の展開計画】

Provisional schedule to be adjusted as needed.

- 1-2 Introduction of semester plans and procedures; getting acquainted; “job-contracting”.
Explanation of students’ rights and responsibilities.
- 3-4 Assessment consultation (by appointment) plus regular class sessions (40 minutes of team-based activities; 5-minute “break” ; 40 minutes for individual reading/writing)
- 5-10 Class activities and short lectures, including fundamentals of English (sounds, spelling, handwriting, word-classification, grammar, and style…contrasted with Japanese).
- 12-14 Assessment consultation (by appointment or during regular class sessions).
- 15 Class- and self-evaluation; submission of evidence of accomplishments.

【履修上の注意事項】

Students are expected to be self-reliant, responsible, and mutually supportive. Grades reflect students’ demonstrated effort to achieve their own goals & to help others achieve theirs.

【評価方法】

Self- and peer-assessment are fundamental to this course. Students choose the grade they wish to “earn” and receive it only if they fulfill their “contract”.

【テキスト】

To be announced & explained during registration period. (Variable according to students’ abilities and self-determined goals.) Most in-class materials are teacher-produced.

【参考文献】

英語 I

担当教員 西原 幹子

配当年次 1年

単位区分 選択

関連資格

備考 社会文化・人間福祉学科1年次対象

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

【授業のねらい】

週二回の授業のうち一回はCALL教室において Viva! San Francisco の教材を用い、リスニングや発音の訓練を行うと同時に、英会話の基礎的表現について学びます。あとの一回は一般教室において副教材を用い、英文読解や英作文の基礎を身に付けることを目指します。

【授業の展開計画】

1週～7週 Viva! San Francisco の chapter1～5

8週 中間テスト

9週～14週 Viva! San Francisco の chapter6～10

15週 学期末テスト

【履修上の注意事項】

三分の一以上欠席すると不可となります。遅刻三回につき一回の欠席と見なします。
「週2回の授業のうち1回はCALL教室を使用する」

【評価方法】

授業態度、課題、中間テストと学期末テストの結果を総合して評価します。

【テキスト】

Viva! San Francisco (Macmillan) (購入の必要はなし)

【参考文献】

英語 I

担当教員 野口 正樹

配当年次 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

関連資格

備考 英米言語文化学科 1年次 対象

【授業のねらい】

本講義は、初日の orientation を除き、原則英語で行います。dictation/quick response とlistening comprehension task を交互に行います。まず、1文毎の英文を3度聴取し、聞いた通りの英語を書き取ります。続いて、textbook の例文を用いてpairで練習した後、暗唱例文の quick response に移ります。日本文に対応する英文を出来る限り早く正確にreproduceすることが求められます。別日には、洋楽を素材にしたlistening comprehensionを行います。意味・文法・音声を核に、聴取した語句を穴埋めします。

【授業の展開計画】**【履修上の注意事項】**

- ① 受講予定者は、講義初日の orientation に必ず参加し、内容・方法を理解することが履修の前提です。
- ② 無断遅刻・欠席・退出は一切認められません。正当な事由がある場合は、事前に必ず mail 連絡下さい。
- ③ 課題は毎時期限までに完成させます。
- ④ 携帯電話の電源は切っておきましょう。また、textbook 及び辞書、筆記用具は必須です。
- ⑤ 講義内での私語及び居眠り・他者への迷惑行為等は問題外になります。

【評価方法】

- ① 授業出席度（原則皆勤）
- ② dictation/quick response /listening comprehension
- ③ 英語の理解と使用（文法説明等の解説を除き日本語使用禁止）
- ④ 質疑応答
- ⑤ 課題
- ⑥ 受講姿勢

【テキスト】

講義内で連絡します。

【参考文献】

講義内で別途配布または連絡します。

英語 I

担当教員 柴崎 礼士郎

配当年次 1年

単位区分 選択

関連資格

備考 産業情報学科 1年対象

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

【授業のねらい】

英語能力の基礎的な部分を復習する。CALL教室を使った授業では、聞き取りを中心に、ディクテーション、音読、発音、口語英語表現などを練習してゆく。一般教室の授業では、下記のテキストを用いて基礎的な英語講読を行うほか、TOEICの問題などにも触れたい。アメリカ文化に限定せず、様々な異文化の紹介も念頭にある。尚、CALL教室では、インターネットを利用した英語学習も一部導入し、参加者が個人学習を行えるように心掛けるつもりである。

【授業の展開計画】

Viva! San Francisco (Part I, chapters 1-10)

Health and Environment from VOA! (chapters 1-7)

【履修上の注意事項】

中間期末テスト以外にも数回の小テストがあります。また、20分以上の遅刻は欠席扱いとなります。
「週2回の授業のうち1回はCALL教室を使用する」

【評価方法】

①出席率 ②テスト ③授業への貢献度

【テキスト】

Viva! San Francisco. Macmillan Language House.
Health and Environment from VOA. 松伯社.

【参考文献】

英語 I

担当教員 大城 明子

配当年次 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

関連資格

備考 地行（水・土1校時）、社文・人福（火・金1校時）

【授業のねらい】

大学生として必須の英語力（語彙、文法）を身につけながら、リスニングとスピーキングの基礎力を養成する。週一回のラボ室では、全学教材のViva!San Franciscoの学習や様々なメディア教材を用いて、異文化理解を深めつつ実践的な聴解力の向上をめざし、もう一方の普通教室では上記の語彙や文法を中心の学習を行いながら、その履修内容を発話（スピーキング）につなげ基本的なコミュニケーション力を培う。

【授業の展開計画】

（以下Viva!はテキストViva! San Franciscoをさす。週一回はCALL教室での授業となる）英語基礎力とは、授業のねらいに記したところの大学生として必須の英語力である語彙、文法のことである。学習内容定着を確実にするため、定期的なテストを行う。また、学期末（16週目）に、本クラスでの学習の集大成としてスピーキングテストを行う。

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション	17	Viva!Ch7 他
2	英語自己紹介 他	18	英語基礎力養成1-6中間点検
3	ラボ室利用オリエンテーション Viva!Ch1	19	Viva!Ch8 他
4	英語のしくみ（概要） 他	20	英語基礎力養成7
5	Viva!Ch2 他	21	Viva!Ch9 他
6	英語基礎力養成1	22	英語基礎力養成8
7	Viva!Ch3 他	23	Viva!Ch10 他
8	英語基礎力養成2	24	英語基礎力養成9
9	Viva!Ch4 他	25	Viva!Ch1-10 期末点検（テストも含む）
10	英語基礎力養成3	26	英語基礎力養成10
11	Viva!Ch5 他	27	スピーキングテスト準備1
12	英語基礎力養成4	28	英語基礎力養成11
13	Viva!Ch1-5 中間点検（テストも含む）	29	スピーキングテスト準備2
14	英語基礎力養成5	30	英語基礎力養成7-11期末点検
15	Viva!Ch6	31	
16	英語基礎力養成6		

【履修上の注意事項】

○受講に際しては英和と和英辞典を携帯のこと（抜き打ち辞典チェックをします） ○語学は能動的に学習しなければ力はつきませんので、クラスでも能動적および積極的に参加することを必須とします（積極的なボランティア発言などは評価に加算します。またボランティア回数が7回未満は単位無しとします） ○週2回の授業のうち1回はCALL教室を使用する ○英語 I では学生は大学指定のクラスへの登録となりますので注意してください。本クラスに指定されていない学生はWeb登録が行えても、実際は登録は認められません。

【評価方法】

授業への参加姿勢、試験、Speech、発表、出席、遅刻、態度などを総合的に評価する。

【テキスト】

1Viva!San Francisco大八木廣人他マミランゲージハウス(ラボ室ソフト教材のため購入の必要なし) 2講師指定の教科書(オリエンテーション時に説明するテキストを大学書店で必ず購入すること) 3講師作成配布のStudy Guide

【参考文献】

英語 I

担当教員 澤 泰人

配当年次 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

関連資格

備考 法律（水・土1校時）、環政（水・土2校時）社文・人福（火・金1校時）

【授業のねらい】

1. 英語に関する様々な内容を学ぶ。特に、ペア会話による演習によってリスニング力とスピーキング力を高める。
2. 毎回の学習項目に沿った多数の作文・発話演習を通じて表現力を高める。
3. 毎回の授業終了時に英作文をこなすことにより、一定量の英語を書くことに慣れる。

【授業の展開計画】

- 1週～7週 Viva! San Francisco の chapter1～5 (CALL教室にて)
- ①英米文化を通して学ぶ英語・その1
 - ②接辞・語根に注目した語彙力増強・その1
 - ③和製英語の数々・その1
 - ④比べてみよう！日本語と英語・その1 (以上、普通教室にて)
- 8週 英語暗唱発表
- 9週～15週 Viva! San Francisco の chapter6～10 (CALL教室にて)
- ①英米文化を通して学ぶ英語・その2
 - ②接辞・語根に注目した語彙力増強・その2
 - ③和製英語の数々・その2
 - ④比べてみよう！日本語と英語・その2 (以上、普通教室にて)
- 16週 試験

【履修上の注意事項】

1. 総授業実数の3分の1以上欠席すると、成績評価が「不可」となる。また、遅刻・早退2回につき1回の欠席となる。
2. 週2回の授業のうち1回はCALL教室で Viva! San Francisco の教材を用いる。
3. 毎回、英和辞典を必ず持参のこと。和英辞典も持参するのが望ましい。
4. 課題（レポート）が課されるので、確実に提出のこと。

【評価方法】

- ①出席状況および授業態度・②発言回数等・③提出課題・④定期試験の結果を総合的に判断して評価する。

【テキスト】

Viva! San Francisco (Macmillan Language House)

【参考文献】

講義内で、適宜プリントを配布する。

英語 I

担当教員 松田 順子

配当年次 1年

単位区分 選択

関連資格

備考 企業システム学科1年次対象

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語 I

担当教員 芦峰 隆章

配当年次 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

関連資格

備考 経済（水・土2校時）、日文（水4・土3校時）

【授業のねらい】

英語の4技能うち特に聴いて、話す技能を向上させることを目標とする。ラボ教室ではVIVA! SAN FRANCISCOをe-learningで学習し他のビデオ教材も用いて聴いて理解する能力を高める。普通教室では別のテキストを使用し英語で話す練習をして、自信のいし、意見を英語で的確に表現できるようにすることをめざす。また、2人でペアを組んで各自で作成した英会話を発表するテストも行う。

【授業の展開計画】

第1週	—	第6週	テキストUnit 1～Unit 3
第7週			中間試験
第8週	—	第13週	テキストのUnit 4～Unit 4
第14週			英会話テスト
第15週			期末試験

【履修上の注意事項】

遅刻、欠席が多くて成績を下げたり単位を落とすことのないように。毎回辞書を持参すること。「週2回の授業のうち1回はCALL教室を使用する」

【評価方法】

中間・期末試験、英会話テスト、授業への参加姿勢、出席状況等で総合的に評価する。

【テキスト】

産業情報学科：Breakthrough
日本文化学科：Check It Out

*テキストは必ず購入すること。

【参考文献】

英語 I

担当教員 長濱 クリストファ

配当年次 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

関連資格

備考 社会文化・人間福祉学科 1 年次対象

【授業のねらい】

この授業では読み易い教材を使って、読解力の向上を目指します。教材の内容は日米の大学生活を取り扱っていて、大学一年生程度の実力を持っている者には、事典の助けを借りて、楽に訳読出来るようになっています。テキストを読み、日米文化の違いを学ぶ良い機会です。米国の学生生活に対する理解を深めるためにビデオ教材を使用します。教室内での地道な訳読、実験室の活用、視聴覚教材の鑑賞等々を適当に織り混ぜながら、ゆっくと英語を学習したいものです。又、毎週火曜日の実験室のクラスではViva! San Franciscoを利用します。

【授業の展開計画】

1 週目	LESSON 1	9 週目	LESSON 6
2 週目	LESSON 2	1 0 週目	LESSON 7
3 週目	LESSON 3	1 1 週目	LESSON 8
4 週目	LESSON 4	1 2 週目	LESSON 9
5 週目	LESSON 5	1 3 週目	LESSON 10
6 週目	ビデオ	1 4 週目	総まとめ
7 週目	ビデオ	1 5 週目	学期末テスト
8 週目	中間テスト		

【履修上の注意事項】

「週 2 回の授業のうち 1 回はCALL教室を使用する」

【評価方法】

中間テスト・学期末テスト・出席状況・宿題の提出を総合的に考慮して評価する

【テキスト】

Student Life in Practical English 成美堂

【参考文献】

英語 I

担当教員 糸数 デビット

配当年次 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

関連資格

備考 英米（火・金1校時）、経済（水・土2校時）

【授業のねらい】

The first decade of the 21st century (2001-2010) has been dedicated to health promotion and disease prevention. The entire members of the human race are now working hand-in-hand to promote this massive project entitled “Healthy People 2010”. And for Japan and Okinawa, “Healthy Japan 2010”, and “Healthy Okinawa 2010”, respectively. The goals of “Healthy People 2010” is to increase the quality of healthy life expectancy, longevity (long life).

【授業の展開計画】

【授業のねらい】の続き～

Okinawa Prefecture being the leader of longevity in the world, should improve their health status, and serve as an inspiration to the world.

With this background, I would like to teach basic English content, using basic English textbook entitled, “A Healthy Way of Life” (120 pages). Aside from the topics in the textbook, I will provide a supplementary lecture of my own published research paper (1990) on prevention of disease and promotion of health, entitled: “Man, Healthy Self and You Will Have a Healthy Self”

Topics of discussion:

- | | | |
|------------------|---------------------|--------------------|
| 1. biotechnology | 2. ecology | 3. calorie control |
| 4. balance diet | 5. exercise | 6. weight control |
| 7. smoking | 8. drinking/alcohol | 9. stress, 10. etc |

【履修上の注意事項】

「週2回の授業のうち1回はCALL教室を使用する」

【評価方法】

① Attendance : 33.4% ② Test : 33.3% ③. Class Participation : 33.3%

【テキスト】

① “A Healthy Way of Life” Authors: Gerald Dampier / William Scougall, 120 pages Publisher: Asahi Press
 ② Smart Choice 1A Author: Ken Wilson Publisher: Oxford University Press

【参考文献】

- Inspirational Video
- News that you can use (important current events- local and global on health)

英語 I

担当教員 新城 知子

配当年次 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

関連資格

備考 法律（水・土1校時）、経済（水・土2校時）

【授業のねらい】

英語の4領域（聴く、話す、読む、書く）のなかでも、特に聴く・話す学習に重点を置き、コミュニケーション能力を高めることを目標とする。

【授業の展開計画】

第1週 : クラス・オリエンテーション
第2～7週 : VIVA! SAN FRANCISCO Chapter 1～5
第8週 : 中間テスト
第9～14週 : VIVA! SAN FRANCISCO Chapter 6～10
第15週 : 期末テスト

【履修上の注意事項】

週1回のラボ室使用の日には、VIVA! SAN FRANCISCO とインターネットリサーチなどのグループプレゼンテーションを行う。普通教室においては、TOEIC対策のListening Practiceを行う。「週2回の授業のうち1回はCALL教室を使用する」

【評価方法】

中間、期末試験とグループプレゼンテーション、及び宿題を総合的に評価する。

【テキスト】

VIVA! SAN FRANCISCO サブテキスト : 5-Minute Quizzes for the TOEIC Test

【参考文献】

英語 I

担当教員 長嶺 博

配当年次 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

関連資格

備考 企シ（火・金2校時）、日文（水4・土3校時）

【授業のねらい】

このクラスではリスニングとスピーキングに重点が置かれる。特にリスニングに関し、テキスト Viva! San Francisco の使用では、英語独特の音のつながりに伴うその変化を学習し、ロールプレイ等での発音練習等を行う。テキスト California Winds の使用では、単語の並べ替えによる英作文が加わる。小テスト(クイズ)を5回と、期末試験としてテキスト Viva! San Francisco の会話を基にした会話テストを行う予定。尚、週一回はCALL教室を使用する。

【授業の展開計画】

1	クラス概要説明等	16	Quiz III
2	California Winds Chapter 1	17	California Winds Chapter 7
3	Viva! San Francisco Chapter 1	18	Viva! San Francisco Chapter 7
4	California Winds Chapter 2	19	California Winds Chapter 8
5	Viva! San Francisco Chapter 2	20	Viva! San Francisco Chapter 8
6	Quiz I	21	Quiz IV
7	California Winds Chapter 3	22	California Winds Chapter 9
8	Viva! San Francisco Chapter 3	23	Viva! San Francisco Chapter 9
9	California Winds Chapter 4	24	California Winds Chapter 10
10	Viva! San Francisco Chapter 4	25	Viva! San Francisco Chapter 10
11	Quiz II	26	Quiz V
12	California Winds Chapter 5	27	会話テスト(クラス1/2)
13	Viva! San Francisco Chapter 5	28	会話テスト(クラス1/2)
14	California Winds Chapter 6	29	課題提出・追試等
15	Viva! San Francisco Chapter 6	30	予備日

【履修上の注意事項】

【評価方法】

成績は、小テスト(クイズ)及び会話テスト等の試験と出席状況を基に評価する。

【テキスト】

Viva! San Francisco (マクミランランゲージハウス)

California Winds (成美堂)

【参考文献】

英語 I

担当教員 前泊 清美

配当年次 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

関連資格

備考 産業情報学科1年次対象

【授業のねらい】

テキストやYou Tube を利用し、多聴を実践しながら、話されていることの大意をつかむ練習をします。また、このクラスでは、講師やクラスメイトと英語で話し、スピーキング能力の向上を目指します。また、会話の内容を充実させるため、映画・音楽鑑賞、100～300語程度の新聞記事やエッセイのリーディングを通して、主に環境問題について考えていきます。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	Class orientation & film	17	Film
2	Viva! Chapter 1	18	Viva! Chapter 8
3	Viva! Chapter 2	19	listening & speaking activities
4	listening & speaking activities	20	Viva! Chapter 9
5	Viva! Chapter 3	21	listening & speaking activities
6	listening & speaking activities	22	Viva! Chapter 10
7	Viva! Chapter 4	23	listening & speaking activities
8	listening & speaking activities	24	Viva! Review
9	Viva! Chapter 5	25	listening & speaking activities
10	listening & speaking activities	26	Viva! Review
11	Viva! Chapter 6	27	listening & speaking activities
12	listening & speaking activities	28	Final, written test
13	Viva! Chapter 7	29	Conversation test 1
14	listening & speaking activiti	30	Conversation test 2
15	mid-term 1	31	
16	mid-term 2		

【履修上の注意事項】

- 1) 授業回数数の3分の1以上欠席すると、不可となります。
- 2) 遅刻3回, 20分以上の遅刻, 講義中の居眠りは、欠席となります。
- 3) 講義には毎回辞書, A-4クリアフォルダーを持参すること。
- 4) 課題の予習、リサーチが必須です。毎回クイズを行います。

【評価方法】

講義での貢献度10%、課題20%、クイズ30%、中間・期末テストそれぞれ20%。
80点以上 優、70-79点 良、60-69点 可、59点以下 不可。

【テキスト】

Viva! San Francisco, 1001 ways to save the Earth, & レジユメを配布します。

【参考文献】

Freedom Writers, The Diary of a Young Girl, Anne Frank, etc.

英語 I

担当教員 -奥間 隆伸

配当年次 1年

単位区分 選択

関連資格

備考 社会文化・人間福祉学科1年次対象

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

【授業のねらい】

英語のspeaking, listening, reading, writing に関する基礎的な運用能力の養成及び向上を目指す。そのため週2回の授業の中、1回はCALL教室において英語I指定教科書：Viva! San Franciscoを使い日常の英会話習得とアメリカ文化に対する理解を深める。あとの1回は普通教室において別の教科書やハンドアウトを使って、基礎的なリスニング・スピーキング力の向上を目指します。授業では個人、ペアワーク、グループワークを通じて積極的に英語に触れ、使っていく。

【授業の展開計画】

CALL教室においては、コンピューター化された教材：Viva! San Francisco を使用し英語の基礎的な4技能（リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング）の習得と向上を目指す。その際、個人、ペアワーク、クラス全体での活動を行ないます。通常教室においては、別の教科書やハンドアウトを使って基礎的なリスニングやスピーキング力の向上を目指し、英語の運用能力を高めていく。そのため、受講者は積極的に授業に参加することが求められます。各レッスン毎に単語や重要表現に関するテストをおこなう。

第1週： 講義の概要説明、英語による自己紹介

第2週～第7週： 各課の学習

第8週： 中間試験

第9週～第15週： 各課の学習

第16週： 期末試験

【履修上の注意事項】

1. 積極的に授業に参加してください。特にCALL教室では、自主的、意欲的な学習態度が必要です。
2. 学則に基づき、3分の1以上欠席のものには単位を認めない。
3. 受講に際しては、教科書、筆記用具、英和・和英辞典を必ず携帯してください。
4. 教室では携帯電話の電源を切ること

【評価方法】

出席点25%、平常点25%（宿題・小テスト・レポート・授業への参加度）、中間試験25%、期末試験25%の結果により総合的に評価する。授業を全体の1/3以上欠席した学生には単位を与えない。また遅刻3回で欠席1回とみなします。

【テキスト】

1. Viva! San Francisco, Hiroto Ohyagi & Timothy kiggell (Macmillan) 2000円(税別)
2. Tactic Listener Nobuyuki Yamauchi & Toshiharu Kitabayashi 金星堂 1600円(税別)

【参考文献】

必要に応じて授業で配布します。

英語 I

担当教員 又吉 斎

配当年次 1年

単位区分 選択

関連資格

備考 社会文化・人間福祉学科 1 年次対象

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

【授業のねらい】

講義は週二回（内1回はCALL教室を利用）、スピーキングの基礎練習（個人・ペア・グループワーク）を中心にを行います。特にCALL教室においては様々な教材（PC・オーディオ・ビデオ機器等）の活用を紹介しながら、各々の自学習サポートを促進します。更に映画や音楽などを通して、様々な文化的トピックスを取り上げながら受講生の異文化に対する理解と関心を深めることを目指します。

【授業の展開計画】

普通教室： 講義の概要、及び登録の説明

Discuss: Why English? 国際語としての英語の役割

English Grammar Revised: 英文法の再確認

English Grammar Revised 2: 英文法の再確認 2

How to Choose the 'right' Textbook: テキストの選定

Speaking: Basic Skills - Step 1

Speaking: Basic Skills - Step 2

Speaking: Basic Skills - Step 3

Speaking: Basic Skills - Step 4

Speaking: Practical Skills - Level 1

Speaking: Practical Skills - Level 2

Speaking: Practical Skills - Level 3

Speaking: Practical Skills - Level 4

Speaking: Practical Skills - Level 5

小テスト

LL教室： コンピュータ機器の操作について

Listening: Phonetics 1

Listening: Phonetics 2

Listening: Phonetics 3

Cultural Study 1: 異文化理解 1 (テーマ未定)

Listening: Basic Skills - Step 1

Listening: Basic Skills - Step 2

Cultural Study 2: 異文化理解 2 (テーマ未定)

Listening: Basic Skills - Step 3

Listening: Basic Skills - Step 4

Listening: Basic Skills - Step 5

Cultural Study 3: 異文化理解 3 (テーマ未定)

Listening: Practical Skills - Level 1

Listening: Practical Skills - Level 2

総まとめ

【履修上の注意事項】

「週 2 回の授業のうち 1 回はCALL教室を使用する」

【評価方法】

評価の対象としては、① 自学習ノート ② 小テスト ③ 受講態度（出席状況、受講マナー、積極的参加など）を総合評価します。尚、評価の割合は次の通りとします。〔① = 50%, ② = 30%, ③ = 20%〕

※ 自学習ノートの評価基準、及び小テストの詳細に関しては別紙に説明します。

※ 出席数が全講義の三分の二に満たない場合は「不可」となります

【テキスト】

指定のテキストはありません。随時、各テーマに沿った資料や文献を配布・紹介します。

【参考文献】

英語 I

担当教員 真喜志 満

配当年次 1年

単位区分 選択

関連資格

備考 地域行政学科1年次対象

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

【授業のねらい】

日常頻繁に使われる基礎的な英語表現を、考えなくても自然に口をついて出てくるようになるまで演習を行います。CALL教室の機能を充分活用して、ヒアリングとスピーキングの技術を高めるよう演習を行います。

【授業の展開計画】

週1回は、普通の教室で「つぶやき英語トレーニング」のテキストを使い、各場面の英語表現を暗記する作業を中心に行います。まず、状況のイメージを和文でつかみ、その後ヒアリング、英語表現の理解と習得、音読、ディクテーションなどを行っていき、最終的に暗記できるまで演習します。

Scene4, 6, 7, 10, 13, 14, 17, 18, 20, 22, 27, 30, 35, 36を順にやっていきます。その結果、どれだけ暗記できたかを試すクイズを行います。

また、別の日の週1回は、「VIVA! SAN FRANCISCO」をChapter1から順にCALL教室のシステムに従って演習していきます。

【履修上の注意事項】

公休日や台風、その他特別な事情で、同じ曜日が連続したりすることがあるので、講義内容を間違えないよう準備すること。欠席する学生は、できる限り事前に所定の欠席届を提出してください。授業開始と同時に出席を取りますので、遅刻をしないよう心がけてください。

「週2回の授業のうち1回はCALL教室を使用する」

【評価方法】

出席35%、クイズ35%、期末試験15%、宿題10%、その他5%、「その他」とは授業態度や授業への貢献度などを考慮したものです。

【テキスト】

“VIVA! SAN FRANCISCO” by Hiroto Ohyagi・Timothy Kiggell (MACMILLAN LANGUAGEHOUSE) 「超右脳つぶやき英語トレーニング」七田真監修、登内和夫・Elizabeth Townsend・Terri-anne Sole著（総合法令出版株式会社）

【参考文献】

英和・和英辞典、英文法書など

英語 I**担当教員** ジョウン・ターバート**配当年次** 1年**単位区分** 選択**開講時期** 前期**授業形態** 一般講義**単位数** 2.0**関連資格****備考** 英米言語文化学科1年次対象**【授業のねらい】**

This class is designed to help students improve the four skills of reading, writing, listening and speaking, with a focus on listening and speaking. The class will include a variety of pair and group activities to develop conversational skills.

【授業の展開計画】

English I will cover the first half of the text, Marathon Mouth. In addition, other materials will be used to expand on and reinforce what is covered in the text.

【履修上の注意事項】**【評価方法】**

The final grade will be based on homework, tests, quizzes, attendance, participation and presentations to be made in class.

【テキスト】

Marathon Mouth (Intercom Press) will be used, as well as supplementary materials that will be provided by the instructor.

【参考文献】

英語 I

担当教員 富里 明美

配当年次 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

関連資格

備考 経済（水・土2校時）、日文（水4・土3校時）

【授業のねらい】

英語でのコミュニケーション能力を向上させるため、主に「聴く」「話す」の技能を養成する。週2回のクラスのうち1回はCALL教室を使用する。教室での講義は、下記テキストを使用して講義を行う予定である。

語学の学習においては、学生が積極的に参加し、発言することが重要だと考えるため、下記「評価方法」の中に「講義への貢献度」の項目を設けた。講義に出席し、Volunteer point の取得を頑張ってください。

【授業の展開計画】

- 1週目:オリエンテーション
- 2週目:Viva San Francisco: Lesson 1 (Quiz 1)
- 3週目: " " :Lesson 2 (Quiz 2)
- 4週目: " " :Lesson 3 (Quiz 3)
- 5週目: " " :Lesson 4 (Quiz 4)
- 6週目: " " :Lesson 5 (Quiz 5)
- 7週目: " " :Lesson 1-5 まとめ
- 8週目: 中間テスト
- 9週目: " " :Lesson 6 (Quiz 6)
- 10週目: " " :Lesson 7 (Quiz 7)
- 11週目: " " :Lesson 8 (Quiz 8)
- 12週目: " " :Lesson 9 (Quiz 9)
- 13週目: " " :Lesson 10 (Quiz 10)
- 14週目: " " :Lesson 6-10 まとめ
- 15週目:期末テスト

【履修上の注意事項】

1. 出席は毎回確認し、出席時数が2/3に満たない学生は単位取得対象にならないので注意すること。
2. 毎回講義には英語辞典(少なくとも英和辞典)を持参すること。電子辞書も可。
3. 欠席届は必ず提出すること。
「週2回の授業のうち1回はCALL教室を使用する」

【評価方法】

中間テスト(テキスト):15% 期末テスト(テキスト):15%
クイズ(Viva! San Francisco):30%
課題・提出物:20%
講義への貢献度:10%
出席:10%

【テキスト】

未定。最初の講義の時間にお知らせします。

【参考文献】

特になし。オーラルレッスン用の追加教材は、随時プリントを配布する。

英語 I

担当教員 長嶺 広美

配当年次 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

関連資格

備考 環政（水・土2校時）、法律・地行2年以上（月・木5校時）

【授業のねらい】

ListeningとSpeakingを中心に総合的な英語学習を通じて、コミュニケーション能力を高めることを目標とする。

【授業の展開計画】

第1週： Introduction to the class
第2～7週： Viva! San Francisco Chap 1～5
第8週： 中間テスト
第9～14週： Viva! San Francisco Chap 6～10
第15週： 期末テスト

【履修上の注意事項】

週2回のクラスの1回をCall 教室でViva! San Francisco を使用し、1回を普通教室でサブ・テキスト（未定）を使用してListeningとSpeakingに焦点を置いて授業を進める。プレゼンテーション等学生主体のクラスとしていくので、積極的なクラス参加を望む。3分の1以上の欠席者は単位を認めない。また、遅刻3回で1回の欠席とみなす。

【評価方法】

授業貢献度 10% クイズ 30%
プレゼンテーション 20% 中間・期末試験 40%

【テキスト】

Viva! San Francisco（購入の必要はありません） サブ・テキスト（未定・教室にて指定します）
辞書は必ず携帯すること。

【参考文献】

英語 I

担当教員 島袋 里美

配当年次 1年

単位区分 選択

関連資格

備考 法律学科・1年次対象

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

【授業のねらい】

二冊の教科書「Viva! San Francisco」と「Spotlight on Britain」を使い、前者はアメリカを舞台にlistening, speaking を中心に学び、後者はイギリスの文化に触れながらreading, writingを学びます。中間・期末試験、暗誦テスト（会話）、そしてペアを組んで3分間の英語スピーチあり。

【授業の展開計画】

週2回の授業のうち、1回はラボ教室です。ラボ教室では「Viva! San Francisco」の教科書を使い、普通教室では「Spotlight on Britain」の教科書を使う。従って、曜日毎に使う教科書が異なります。毎回、ペアで（2組ずつ）英語による口頭発表をおこなう。トピックはアメリカ・イギリスの文化に関するもの。詳細は授業のなかで説明します。

<Viva! San Francisco>	<Spotlight on Britain>
1. Introduction	1. Chapter 1
2. Chapter 1 + 暗誦テスト	2. Chapter 2
3. Chapter 2	3. Chapter 3
4. Chapter 3 + 暗誦テスト	4. Chapter 4
5. Chapter 4	5. Chapter 5
6. Chapter 5 + 暗誦テスト	6. 中間試験
7. 中間試験	7. Chapter 6
8. Chapter 6	8. Chapter 7
9. Chapter 7	9. Chapter 8
10. Chapter 8 + 暗誦テスト	10. Chapter 9
11. Chapter 9	11. Chapter 12
12. Chapter 10	12. Follow up
13. Follow up	13. Follow up
14. Follow up	14. Follow up
15. 期末試験	15. 期末試験

【履修上の注意事項】

辞書を持参。出席に関しては、遅刻3回で一回の欠課（欠席扱い）とみなします。欠課が10回になると、単位はありません。週一回はラボ教室で授業。

【評価方法】

出席状況＋授業への参加姿勢	10
暗誦テスト	10
3分間の英語スピーチ	20
中間試験	30
期末試験	30

【テキスト】

- ・Viva! San Francisco (Macmillan Languagehouse, 大八木廣人/Timothy Kiggell)
- ・Spotlight on Britain (南雲堂、Terry O' Brien/木村博是 他)

【参考文献】

特になし

英語 I

担当教員 宮城 和文

配当年次 1年

単位区分 選択

関連資格

備考 地域行政学科対象

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語Ⅱ

担当教員 カレン ルパートス

配当年次 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

関連資格

備考 企シ（火・金1校時）、産情（火・金2校時）

【授業のねらい】

Similar to English I, the basic purpose is to provide students with materials & structured opportunity for learning & using English. The goal is to increase each student's self-confidence in achievement by developing skills of analysis & prediction, and mutually supportive attitudes and expectations. Students will be subjected to the discipline and requirements of job-performance within a class-room situation.

【授業の展開計画】

- 1-2 Introduction of semester plans and procedures; “job-contracting” and establishment of goals and expectations.
- 3-4 Assessment consultation (by appointment) plus regular class sessions (40 minutes of team-based activities; 5 minute “break” ; 40 minutes individual reading/writing)
- 5-10 Class activities and lectures, with focus on correspondence and telephone communication, and making presentations.
- 12-14 Assessment consultation (by appointment or during regular class sessions).
- 15 Class- and self-evaluation; submission of evidence of accomplishments.

【履修上の注意事項】

Students are expected to be self-reliant, responsible, and mutually supportive. Grades reflect students' demonstrated effort to achieve their own goals & to help others achieve theirs.

【評価方法】

Self- and peer-assessment are fundamental to this course. Students choose the grade they wish to “earn” and receive it only if they fulfill their “contract”.

【テキスト】

To be announced & explained during registration period. (Variable according to students' abilities and self-determined goals.) Most in-class materials are teacher-produced.

【参考文献】

英語Ⅱ

担当教員 西原 幹子

配当年次 1年

単位区分 選択

関連資格

備考 社会文化・人間福祉学科 1年次対象

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

【授業のねらい】

週二回の授業のうち一回はCALL教室において Viva! San Francisco の教材を用い、リスニングや発音の訓練を行うと同時に、英会話の基礎的表現について学びます。あとの一回は一般教室において副教材を用い、英文読解や英作文の基礎を身に付けることを目指します。

【授業の展開計画】

1週～7週 Viva! San Francisco の chapter 11～15

8週 中間テスト

9週～14週 Viva! San Francisco の chapter 16～20

15週 学期末テスト

【履修上の注意事項】

三分の一以上の欠席で不可となります。遅刻三回につき一回の欠席と見なします。
「週 2 回の授業のうち 1 回はCALL教室を使用する」

【評価方法】

授業態度、課題、中間テストと学期末テストの結果を総合的に評価します。

【テキスト】

Viva! San Francisco (Macmillan) (購入の必要なし)

【参考文献】

英語Ⅱ

担当教員 野口 正樹

配当年次 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

関連資格

備考 英米言語文化学科 1年次 対象

【授業のねらい】

本講義は、基本的に英語で行います。まず、warm-up 終了後、課題である暗唱例文の practice を pairで行います。続いて、quick response に移ります。それから、語法・文法に関する質疑応答を英語または日本語で実践します。後半は、group に分かれ、暗唱英文に基づいた short dialogue 作成に取り組みます。homework assignment の活用を奨励します。その後、group 毎に英語による acting out を行います。

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

- ① 受講予定者は、講義初日の orientation に必ず参加し、内容・方法を理解することが履修の前提です。
- ② 無断遅刻・欠席・退出は一切認められません。正当な理由がある場合は、事前に必ず mail 連絡下さい。
- ③ 課題は毎時期限までに完成させます。
- ④ 携帯電話の電源は切っておきましょう。また、textbook 及び辞書、筆記用具は必須です。
- ⑤ 講義内での私語及び居眠り・他者への迷惑行為等は問題外になります。

【評価方法】

- ① 授業出席度（原則皆勤）
- ② quick response / debate
- ③ 英語の理解と運用（文法説明等の解説を除き日本語使用禁止）
- ④ 質疑応答
- ⑤ 課題
- ⑥ 受講姿勢

【テキスト】

講義内で連絡します。

【参考文献】

講義内で別途配布または連絡します。

英語Ⅱ**担当教員** 柴崎 礼士郎**配当年次** 1年**単位区分** 選択**関連資格****備考** 産業情報学科・1年次対象**開講時期** 後期**授業形態** 一般講義**単位数** 2.0**【授業のねらい】**

前期の続きである。CALL教室では口語英語を、一般教室の授業では基礎的な英語講読を行う。副教材の読み物については、学生の所属する学科に関連するものを随時使用するようにもします。

【授業の展開計画】

Viva! San Francisco (Part II, chapters 11-20)
Health and Environment from VOA (chapters 8-15)

【履修上の注意事項】

中間期末テスト以外にも数回の小テストがあります。20分以上の遅刻は欠席扱いとなります。
「週2回の授業のうち1回はCALL教室を使用する」

【評価方法】

①出席率 ②テスト ③授業への貢献度

【テキスト】

Viva! San Francisco. Macmillan Language House.
Health and Environment from VOA. 松伯社.

【参考文献】

インターネット上の有益な語学学習サイトを随時紹介する。

英語Ⅱ

担当教員 大城 明子

配当年次 1年

単位区分 選択

関連資格

備考 地行（水・土1校時）、社文・人福（火・金1校時）

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

【授業のねらい】

英語Ⅰの発展を前提に、大学レベルの英語力の養成と基本的な発信型コミュニケーション力の習得を目指す。週一回のラボ室では、全学教材のViva!SanFranciscoのCh11-20をCALLソフトを用いて学習し、他のメディア教材との併用で、多種多様な英語のインプットをはかる。また普通教室では、英語Ⅰで用いた教材を引き続き用いて基礎英語力を向上させて、それを生かして、英語で自ら表現し伝えて意思疎通の図れる力をみにつける。

【授業の展開計画】

（以下Viva!はテキストViva! San Franciscoをさす。週1回はCALL教室での授業となる） 英語基礎力とは、英語Ⅰと同様の大学レベルの英語力（語彙、文法面）の習得とともに、その周辺の力を学習することである。16週目には、スピーキングテストがあることに注意すること。学習内容の定着を目的とした定期的なテストを実施する。

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	英語Ⅱオリエンテーション	17	Viva!Ch17
2	英語Ⅰ履修内容の総復習、他	18	英語基礎力養成18 他
3	Viva!Ch11 他	19	Viva!Ch18
4	英語基礎力養成12 他	20	英語基礎力養成19 他
5	Viva!Ch12 他	21	Viva!Ch19
6	英語基礎力養成13 他	22	英語基礎力養成20 他
7	Viva!Ch13 他	23	Viva!Ch20
8	英語基礎力養成14 他	24	英語基礎力養成21 他
9	Viva!Ch14 他	25	Viva!Ch16-20期末点検（テストを含む）
10	英語基礎力養成15 他	26	英語基礎力養成22 他
11	Viva!Ch15 他	27	スピーキングテスト準備
12	英語基礎力養成16 他	28	英語基礎力養成18-22点検（テストを含む）
13	Viva!Ch11-15中間点検（テストを含む）	29	スピーキングテスト準備 他
14	英語基礎力養成17 他	30	スピーキングテスト準備
15	Viva!Ch16	31	
16	英語基礎力養成12-17点検（テストを含む）		

【履修上の注意事項】

○英語Ⅱは原則として英語Ⅰと同じクラスに登録することに注意。英語Ⅰ（担当大城）の同曜日同時限に登録していなかった学生が英語ⅡでWeb登録を行っても本英語Ⅱクラスでの登録認めません。○受講に際しては英和と和英辞典は必携です→抜き打ちチェックをします ○語学は能動的に学習してこそ力がつくものです。よってクラスでも能動的および積極的に参加することを必須とします（積極的なボランティア発言等などは評価に換算します。またボランティア10回未満の場合は単位無し）○週2回の授業のうち1回はCALL教室を使用する

【評価方法】

授業への参加姿勢、試験、Speech、発表、出席、遅刻、態度などを総合的に評価する。

【テキスト】

1. Viva! San Francisco大八木廣人他マクミランセンターハウス（購入必要なし） 2. 英語Ⅰで用いた教科書 3. 講師作成配布のStudy Guide

【参考文献】

英語Ⅱ

担当教員 澤 泰人

配当年次 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

関連資格

備考 法律（水・土1校時）、環政（水・土2校時）社文・人福（火・金1校時）

【授業のねらい】

1. 様々な内容を英語で学ぶ。同時にペア会話による演習によってリスニング力・スピーキング力を高める。
2. 毎回の学習項目に沿った多数の作文・発話練習を通じて表現力を高める。
3. 毎回授業終了時に英作文をこなすことにより、一定量の英語を書くことに慣れる。

【授業の展開計画】

- 1週～7週 Viva! San Francisco の chapter 11～15 (CALL教室にて)
- ①間違いやすい英語表現・その1
 - ②歌と英字新聞で英語表現を学ぶ・その1
 - ③日常生活表現を英語で書き、話す・その1
 - ④日本の文化や年中行事を英語で紹介する・その1 (以上、普通教室にて)
- 8週 英語暗唱発表
- 9週～14週 Viva! San Francisco の chapter 16～20 (CALL教室にて)
- ①間違いやすい英語表現・その2
 - ②歌と英字新聞で英語表現を学ぶ・その2
 - ③日常生活表現を英語で書き、話す・その2
 - ④日本の文化や年中行事を英語で紹介する・その2 (以上、普通教室にて)
- 16週 試験

【履修上の注意事項】

1. 総授業実数の3分の1以上欠席すると、成績評価が「不可」となる。また、遅刻・早退2回につき1回の欠席となる。
2. 週2回の授業のうち1回はCALL教室で Viva! San Francisco の教材を用いる。
3. 毎回、英和辞典を必ず持参のこと。和英辞典も持参するのが望ましい。
4. 課題（レポート）が課されるので、確実に提出のこと。

【評価方法】

- ①出席状況および授業態度・②発言回数等・③提出課題・④定期試験 の結果を総合的に判断して評価する。

【テキスト】

Viva! San Francisco (Macmillan Language House)

【参考文献】

講義内で、適宜プリントを配布する。

英語Ⅱ

担当教員 松田 順子

配当年次 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

関連資格

備考 企業システム学科1年次対象

【授業のねらい】

英語の4領域（聴く、話す、読む、書く）に於ける総合的な学習を通じて、コミュニケーション能力を高めることを目標とする。

【授業の展開計画】

- 第1～7週 : VIVA! SAN FRANCISCO Chapter 11～16 テキスト Unit 7～10
第8週 : 中間テスト
第9～12週 : VIVA! SAN FRANCISCO chapter 17～20 テキスト Unit 11～12
第13～14週 : Performance (Group presentation)
第15週 : 期末テスト

【履修上の注意事項】

ラボ室では、VIVA! SAN FRANCISCO と映画の短いシーンを活用しての聴く学習を中心に進め、教室では、テキストの読み物によってアメリカの文化についての理解を深めたり、ハンド・アウトによって会話に必要な表現を学ぶことができるよう、共に工夫する。受講生はペアを組んで練習をすることを拒まず、意欲的に参加することが求められる。私語などによって他の受講生の学習の妨げをすることを慎むこと。「週2回の授業のうち1回はCALL教室を使用する」

【評価方法】

授業への参加姿勢・貢献度（質問など）、ペアを組んでのパフォーマンス、及びテストを総合的に評価する。

【テキスト】

American History in Focus (Macmillan Cinema English 2)
*Viva! San Franciscoを購入する必要はない。

【参考文献】

英語Ⅱ

担当教員 芦峰 隆章

配当年次 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

関連資格

備考 経済（水・土2校時）、日文（水4・土3校時）

【授業のねらい】

総合英語のクラスなので4技能をバランスよく向上させることを目標とする。ラボ教室では指定テキストのVIVA! SAN FRANCISCO や他のビデオ教材を用いて聴いて理解する能力を高め、普通教室では別のテキストのIDEAS & ISSUESの英文解読と和訳を重点的に学習し英語で自分の考えを的確に表現できるようにすることもめざす。また、2人でペアを組んで各自で作成した英会話を発表するテストを行い話す能力もアップさせる。

【授業の展開計画】

第1週	—	第6週	両テキストのChapter 11—Chapter 15
第7週			中間試験
第8週	—	第13週	両テキストのChapter 16—Chapter 20
第14週			英会話テスト
第15週			期末試験

【履修上の注意事項】

遅刻、欠席が多くて成績を下げたり単位を落とすことのないように。
 毎回辞書を持参すること。（テストは辞書使用可です）
 「週2回の授業のうち1回はCALL教室を使用する」

【評価方法】

中間・期末試験、英会話テスト、授業への参加姿勢、出席状況等で総合的に評価する。

【テキスト】

- (1) VIVA! SAN FRANCISCO
- (2) IDEAS&ISSUES (Threshold)

*後期から登録する学生は左記の2冊のテキストは必ず購入すること。

【参考文献】

英語Ⅱ

担当教員 島袋 里美

配当年次 1年

単位区分 選択

関連資格

備考 法律学科1年次対象

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

【授業のねらい】

二冊の教科書「Viva! San Francisco」と「Spotlight on Britain」を使い、前者はアメリカを舞台にlistening, speaking を中心に学び、後者はイギリスの文化に触れながらreading, writingを学びます。中間・期末試験、暗誦テスト（会話）、そしてペアを組んで3分間の英語スピーチあり。

【授業の展開計画】

前期と同じ。教科書も前期と同じものを使用し、後半部分を学びます。

<Viva! San Francisco>

- | | |
|------------------------|---------------|
| 1. Chapter 11 | |
| 2. Chapter 12 + 暗誦テスト | 2. Chapter 14 |
| 3. Chapter 13 + 暗誦テスト | 3. Chapter 15 |
| 4. Chapter 14 | 4. Chapter 16 |
| 5. Chapter 15 | 5. 中間試験 |
| 6. 中間試験 | 6. Chapter 17 |
| 7. Chapter 16 | 7. Chapter 20 |
| 8. Chapter 17 + 暗誦テスト | 8. Chapter 22 |
| 9. Chapter 18 | 9. Chapter 23 |
| 10. Chapter 19 | 10. Follow up |
| 11. Chapter 20 + 暗誦テスト | 11. Follow up |
| 12. Follow up | 12. Follow up |
| 13. Follow up | 13. Follow up |
| 14. Follow up | 14. Follow up |
| 15. 期末試験 | 15. 期末試験 |

<Spotlight on Britain>

1. Chapter 13

【履修上の注意事項】

辞書を持参。出席に関しては、遅刻3回で一回の欠課（欠席扱い）とみなします。欠課が10回になると、単位はありません。週一回はラボ教室で授業。

【評価方法】

- | | |
|---------------|----|
| 出席状況+授業への参加姿勢 | 10 |
| 暗誦テスト | 10 |
| 3分間の英語スピーチ | 20 |
| 中間試験 | 30 |
| 期末試験 | 30 |

【テキスト】

- ・Viva! San Francisco (Macmillan Languagehouse, 大八木廣人/Timothy Kiggell)
- ・Spotlight on Britain (南雲堂, Terry O' Brien/木村博是 他)

【参考文献】

特になし

英語Ⅱ

担当教員 長濱 クリストファ

配当年次 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

関連資格

備考 社会文化・人間福祉学科 1 年次対象

【授業のねらい】

前期の授業と基本的には全く同じものです。教科書も同じものを勉強します。しかし、今学期は文法的な基礎知識も身につけるように、クラスで練習問題を何回もやります。ノートをきちんととって、確かな文法的基礎知識を獲得してください。又、ビデオもただ、漠然として観るのではなく、教科書の内容と結びつけて理解するようにしてもらいたいものです。目撃者をビデオで観賞してAmishの生き方を垣間見るのも良いでしょう。クラス内、クラス外での質問は大歓迎します。

【授業の展開計画】

1 週目	LESSON 11	9 週目	LESSON 16
2 週目	LESSON 12	10 週目	LESSON 17
3 週目	LESSON 13	11 週目	LESSON 18
4 週目	LESSON 14	12 週目	LESSON 19
5 週目	LESSON 15	13 週目	LESSON 20
6 週目	ビデオ	14 週目	総まとめ
7 週目	ビデオ	15 週目	学期末テスト
8 週目	中間テスト		

【履修上の注意事項】

「週 2 回の授業のうち 1 回はCALL教室を使用する」

【評価方法】

中間テスト・学期末テスト・出席状況・宿題の提出を総合的に考慮して評価する

【テキスト】

Student Life in Practical English 成美堂
副読本：未定

【参考文献】

英語Ⅱ

担当教員 糸数 デビッド

配当年次 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

関連資格

備考 英米（火・金1校時）、経済（水・土2校時）

【授業のねらい】

The first decade of the 21st century (2001-2010) has been dedicated to health promotion and disease prevention. The entire members of the human race are now working hand-in-hand to promote this massive project entitled “Healthy People 2010”. And for Japan and Okinawa, “Healthy Japan 2010”, and “Healthy Okinawa 2010”, respectively. The goals of “Healthy People 2010” is to increase the quality of healthy life expectancy, longevity (long life).

【授業の展開計画】

【授業のねらい】の続き～

Okinawa Prefecture being the leader of longevity in the world, should improve their health status, and serve as an inspiration to the world.

With this background, I would like to teach basic English content, using basic English textbook entitled, “A Healthy Way of Life” (120 pages). Aside from the topics in the textbook, I will provide a supplementary lecture of my own published research paper (1990) on prevention of disease and promotion of health, entitled: “Man, Healthy Self and You Will Have a Healthy Self”

Topics of discussion:

- | | | |
|------------------|---------------------|---------------------|
| 1. biotechnology | 2. ecology | 3. calorie control |
| 4. balance diet | 5. exercise | 6. weight control |
| 7. smoking | 8. drinking/alcohol | 9. stress, 10. etc. |

【履修上の注意事項】

「週2回の授業のうち1回はCALL教室を使用する」

【評価方法】

- ① Attendance : 33.4% ② Test : 33.3% ③. Class Participation : 33.3%

【テキスト】

- ① “A Healthy Way of Life” Authors: Gerald Dampier / William Scougall, 120 pages Publisher: Asahi Press ② Smart Choice 1A Author: Ken Wilson Publisher: Oxford University Press

【参考文献】

- Inspirational Video
- News that you can use (important current events- local and global on health)

英語Ⅱ

担当教員 新城 知子

配当年次 1年

単位区分 選択

関連資格

備考 法律（水・土1校時）、経済（水・土2校時）

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

「週2回の授業のうち1回はCALL教室を使用する」

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語Ⅱ

担当教員 長嶺 博

配当年次 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

関連資格

備考 企シ（火・金2校時）、日文（水4・土3校時）

【授業のねらい】

このクラスではリスニングとスピーキングに重点が置かれる。特にリスニングに関し、テキスト Viva! San Francisco の使用では、英語独特の音のつながりに伴うその変化を学習し、ロールプレイ等での発音練習等を行う。テキスト California Winds の使用では、単語の並べ替えによる英作文が加わる。小テスト(クイズ)を5回と、期末試験としてテキスト Viva! San Francisco の会話を基にした会話テストを行う予定。尚、週一回はCALL教室を使用する。

【授業の展開計画】

1	クラス概要説明等	16	Quiz III
2	California Winds Chapter 11	17	California Winds Chapter 17
3	Viva! San Francisco Chapter 11	18	Viva! San Francisco Chapter 17
4	California Winds Chapter 12	19	California Winds Chapter 18
5	Viva! San Francisco Chapter 12	20	Viva! San Francisco Chapter 18
6	Quiz I	21	Quiz IV
7	California Winds Chapter 13	22	California Winds Chapter 19
8	Viva! San Francisco Chapter 13	23	Viva! San Francisco Chapter 19
9	California Winds Chapter 14	24	California Winds Chapter 20
10	Viva! San Francisco Chapter 14	25	Viva! San Francisco Chapter 20
11	Quiz II	26	Quiz V
12	California Winds Chapter 15	27	会話テスト(クラス1/2)
13	Viva! San Francisco Chapter 15	28	会話テスト(クラス1/2)
14	California Winds Chapter 16	29	課題提出・追試等
15	Viva! San Francisco Chapter 16	30	予備日

【履修上の注意事項】

【評価方法】

成績は、小テスト(クイズ)及び会話テスト等の試験と出席状況を基に評価する。

【テキスト】

Viva! San Francisco (マクミランランゲージハウス)

California Winds (成美堂)

【参考文献】

英語Ⅱ

担当教員 前泊 清美

配当年次 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

関連資格

備考 産業情報学科1年次対象

【授業のねらい】

テキストやYou Tube を利用し、多聴を続け、想像力や持てる知識を駆使して話されていることをできるだけ正確に理解する訓練を実践します。映画や音楽鑑賞、短い英字新聞記事やエッセイのリーディングを通して、アメリカ文化・社会や「差別」について考えていきます。それらのことに関する自分の考えをできるだけ英語で表現できるように努力していきます。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	Class orientation & film	17	Film
2	Viva! Chapter 11	18	Viva! Chapter 18
3	Viva! Chapter 12	19	reading, listening, speaking activities
4	reading, listening, speaking activities	20	Viva! Chapter 19
5	Viva! Chapter 13	21	reading, listening, speaking activities
6	reading, listening, speaking activities	22	Viva! Chapter 20
7	Viva! Chapter 14	23	reading, listening, speaking activities
8	reading, listening, speaking activities	24	Viva! Review
9	Viva! Chapter 15	25	reading, listening, speaking activities
10	reading, listening, speaking activities	26	Viva! Review
11	Viva! Chapter 16	27	Reading test
12	reading, listening, speaking activities	28	Conversation test 1
13	Viva! Chapter 17	29	Conversation test 2
14	Review	30	Conversation test 3
15	mid-term 1	31	
16	mid-term 2		

【履修上の注意事項】

- 1) 授業回数の3分の1以上欠席すると、不可となります。
- 2) 遅刻3回, 20分以上の遅刻, 講義中の居眠りは、欠席となります。
- 3) 講義には毎回辞書, A-4クリアフォルダーを持参すること。
- 4) 課題の予習、リサーチが必須です。毎回クイズを行います。

【評価方法】

講義での貢献度10%、課題20%、クイズ30%、中間・期末テストそれぞれ20%。
80点以上 優、70-79点 良、60-69点 可、59点以下 不可。

【テキスト】

Textbook: Viva! San Francisco, 1001 ways to save the Earth, & レジユメを配布します。

【参考文献】

Freedom Writers' Diary, The Diary of a Young Girl, Anne Frank, etc.

英語Ⅱ

担当教員 奥間 隆伸

配当年次 1年

単位区分 選択

関連資格

備考 社会文化・人間福祉学科1年次対象

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

【授業のねらい】

英語Ⅰに引き続き、英語のspeaking, listening, reading, writing に関する基礎的な運用能力の養成及び向上を目指す。そのため週2回の授業の中、1回はCALL教室において英語Ⅰ・Ⅱ指定教科書：Viva! San Franciscoを使い日常の英会話習得とアメリカ文化に対する理解を深める。あとの1回は普通教室において別の教科書やハンドアウトを使って、基礎的なリスニング・スピーキング力の向上を目指します。授業では個人、ペアワーク、グループワークを通じて積極的に英語に触れ、使っていく。

【授業の展開計画】

CALL教室においては、コンピューター化された教材：Viva! San Francisco を使用し英語の基礎的な4技能（リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング）の習得と向上を目指す。テキストはPart2の部分：Chapter11-20を学習していく。その際、個人、ペアワーク、クラス全体での活動を行ないます。通常教室においては、教科書（英語Ⅰで使用したもの）のUnit 8-15やハンドアウトを使って基礎的なリスニング・スピーキング力の向上に努める。そのため、受講者は積極的に授業に参加することが求められます。各レッスン毎に単語や重要表現に関するテストをおこなう。

第1週： 講義の概要説明介

第2週～第7週： 各課の学習

第8週： 中間試験

第9週～第15週： 各課の学習

第16週： 期末試験

【履修上の注意事項】

1. 積極的に授業に参加してください。特にCALL教室では、自主的、意欲的な学習態度が必要です。
2. 学則に基づき、3分の1以上欠席のものには単位を認めない。
3. 受講に際しては、教科書、筆記用具、英和・和英辞典を必ず携帯してください。
4. 教室では携帯電話の電源を切ること。

【評価方法】

出席点25%、平常点25%（宿題・小テスト・レポート・授業への参加度）、中間試験25%、期末試験25%の結果により総合的に評価する。授業を全体の1/3以上欠席した学生には単位を与えない。また遅刻3回で欠席1回とみなします。

【テキスト】

- ①Viva! San Francisco Hiroto Ohyagi & Timothy Kiggell MACMILLAN LANGUAGEHOUSE 2000円(税別)
- ②Tactic Listener Nobuyuki Yamauchi & Toshiharu Kitabayashi 金星堂 1600円(税別)

【参考文献】

必要に応じて授業で配布します。

英語Ⅱ

担当教員 又吉 斎

配当年次 1年

単位区分 選択

関連資格

備考 社会文化・人間福祉学科・1年次対象

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

【授業のねらい】

前期「英語Ⅰ」に引き続き、個々のコミュニケーション能力の指導（実用的な英会話の練習、及び基礎的な英文読解の練習等）を中心に組み立てます。先ず普通教室での講義では ① Speaking（英会話）→ ② Reading（読解）の順に、それぞれの基礎練習を行います。又、CALL教室においては ① Pronunciation（発音）→ ② Listening（聴解）の指導、及び異文化理解や自学習サポートについても前期同様に取り組んでいきます。

【授業の展開計画】

〔普通教室〕	〔LL教室〕
後期オリエンテーション — (英文日記)	
Speaking: Going Abroad — Step 1	Pronunciation (発音) : Step 1
Speaking: Going Abroad — Step 2	Pronunciation (発音) : Step 2
Speaking: Going Abroad — Step 3	Pronunciation (発音) : Step 3
Speaking: Going Abroad — Step 4	Pronunciation (発音) : Step 4
Speaking: Going Abroad — Step 5	Cultural Study 1: 異文化理解 1 (テーマ未定)
Speaking: Going Abroad — Step 6	Pronunciation (発音) : Step 5
Speaking: Going Abroad — Step 7	Pronunciation (発音) : Step 6
Reading: Practical Skills — Step 1	Cultural Study 2: 異文化理解 2 (テーマ未定)
Reading: Practical Skills — Step 2	Listening: Practical Skills — Step 1
Reading: Practical Skills — Step 3	Listening: Practical Skills — Step 2
Writing: Practical Skills — Step 1	Listening: Practical Skills — Step 3
Writing: Practical Skills — Step 2	Cultural Study 3: 異文化理解 3 (テーマ未定)
Writing: Practical Skills — Step 3	Listening: Practical Skills — Step 4
小テスト	Listening: Practical Skills — Step 5
	総まとめ

【履修上の注意事項】

「週 2 回の授業のうち 1 回はCALL教室を使用する」

【評価方法】

評価の対象としては、① 自学習ノート ② 小テスト ③ 受講態度（出席状況、受講マナー、積極的参加など）を総合評価します。尚、評価の割合は次の通りとします。〔① = 50%, ② = 30%, ③ = 20%〕

※ 自学習ノートの評価基準、及び小テストの詳細に関しては別紙に説明します。

※ 出席数が全講義の三分の二に満たない場合は「不可」となります

【テキスト】

指定のテキストはありません。随時、各テーマに沿った資料や文献を配布・紹介します。

【参考文献】

指定のテキストはありません。随時、各テーマに沿った資料や文献を配布・紹介します。

英語Ⅱ

担当教員 真喜志 満

配当年次 1年

単位区分 選択

関連資格

備考 地域行政学科1年次対象

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

【授業のねらい】

英語Ⅰに続き、全体的に文章が少し長くなります。日常頻繁に使われる基礎的な英語表現を、考えなくても自然に口をついて出てくるよう、さらに演習を行います。LL教室の機能を充分活用して、ヒアリングとスピーキングの技術をさらに高めるよう演習します。

【授業の展開計画】

英語Ⅰに引き続き、週1回は、普通の教室で「つぶやき英語トレーニング」のテキストを使って、各場面の英語表現を暗記する作業を行います。状況のイメージを和文でつかんだ後、ヒアリング、英語表現の理解と習得、音読、ディクテーションなどを行っていき、最終的に暗記できるまで演習します。

Scene1, 9, 16, , 23, 24, 26, 29, 32, 37, 43, 44, 47を順にやっていきます。その結果、どれだけ暗記できたかを試すクイズを行います。

別の日の週1回は、” VIVA SANFRANCISCO” をChapter11から順にLL教室のシステムに従って演習していきます。

【履修上の注意事項】

公休日や台風、その他特別な事情で、同じ曜日が連続したりすることがあるので、講義内容を間違えないよう準備すること。欠席する学生は、できる限り事前に所定の欠席届を提出してください。授業開始と同時に出席を取りますので、遅刻をしないよう心がけてください。

「週2回の授業のうち1回はCALL教室を使用する」

【評価方法】

出席35%、クイズ35%、期末試験15%、宿題10%、その他5%、「その他」とは授業態度や授業への貢献度などを考慮したものです。

【テキスト】

“VIVA! SAN FRANCISCO” by Hiroto Ohyagi・Timothy Kiggell (MACMILLAN LANGUAGEHOUSE) 「超右脳つぶやき英語トレーニング」七田真監修、登内和夫・Elizabeth Townsend・Terri-anne Sole著（総合法令出版株式会社）

【参考文献】

英和・和英辞典、英文法書など

英語Ⅱ

担当教員 ジョウン・ターバート

配当年次 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

関連資格

備考 英米言語文化学科1年次対象

【授業のねらい】

This class is designed to help students improve the four skills of reading, writing, listening and speaking, with a focus on listening and speaking. The class will include a variety of pair and group activities to develop conversational skills.

【授業の展開計画】

English II will cover the second half of the text, Marathon Mouth. In addition, other materials will be used to expand on and reinforce what is covered in the text.

【履修上の注意事項】**【評価方法】**

The final grade will be based on homework, tests, quizzes, attendance, participation and presentations to be made in class.

【テキスト】

Marathon Mouth (Intercom Press) will be used, as well as supplementary materials that will be provided by the instructor.

【参考文献】

英語Ⅱ

担当教員 富里 明美

配当年次 1年

単位区分 選択

関連資格

備考 経済（水・土2校時）、日文（水4・土3校時）

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

【授業のねらい】

英語でのコミュニケーション能力を向上させるため、「聴く」「話す」の技能を重点的に養成する。週2回のクラスのうち1回はCALL教室を使用する。教室での講義は、下記テキストを使用する予定である。

語学の学習においては、学生が積極的に参加し、発言することが重要だと考えるため、下記「評価方法」の中に「講義への貢献度」の項目を設けた。講義に出席し、Volunteer point の取得を頑張ってください。

【授業の展開計画】

1週目:オリエンテーション

2週目:Viva! San Francisco: Lesson 11 (Quiz 1)

3週目: " " : Lesson 12 (Quiz 2)

4週目: " " : Lesson 13 (Quiz 3)

5週目: " " : Lesson 14 (Quiz 4)

6週目: " " : Lesson 15 (Quiz 5)

7週目: " " : Lesson 11-15まとめ

8週目:中間テスト

9週目: Viva! San Francisco: Lesson 16 (Quiz 6)

10週目: " " : Lesson 17 (Quiz 7)

11週目: " " : Lesson 18 (Quiz 8)

12週目: " " : Lesson 19 (Quiz 9)

13週目: " " : Lesson 20 (Quiz 10)

14週目: " " : Lesson 16-20まとめ

15週目:期末テスト

【履修上の注意事項】

1. 出席は毎回確認し、出席時数が2/3に満たない学生は単位取得対象にならないので注意すること。
2. 毎回講義には英語辞典(少なくとも英和辞典)を持参すること。電子辞書も可。
3. 欠席届は必ず提出すること。
「週2回の授業のうち1回はCALL教室を使用する」

【評価方法】

中間テスト(テキスト等より出題):15% 期末テスト(テキスト等より出題):15%

クイズ(Viva より出題):30%

課題・提出物:20%

講義への貢献度:10%

出席:10%

【テキスト】

未定。最初の講義の時にお知らせします。

【参考文献】

特になし。オーラルレッスン用の追加教材は、随時プリントを配布する。

英語Ⅱ

担当教員 長嶺 広美

配当年次 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

関連資格

備考 環政（水・土2校時）、法律・地行2年以上（月・木5校時）

【授業のねらい】

英語Ⅰに引き続き、ListeningとSpeakingを中心に総合的な英語学習を通じて、コミュニケーション能力を高めることを目標とする。

【授業の展開計画】

第1週 : Introduction to the class
第2～7週 : Viva! San Francisco Chap 11～15
第8週 : 中間テスト
第9～14週 : Viva! San Francisco Chap 16～20
第15週 : 期末テスト

【履修上の注意事項】

週2回のクラスの1回をCall 教室でViva! San Francisco を使用し、もう1回は普通教室でサブ・テキスト（未定）を使用してListeningとSpeakingに焦点を置いて授業を進める。プレゼンテーション等学生主体のクラスとしていくので、積極的なクラス参加を望む。3分の1以上の欠席者は単位を認めない。また、遅刻3回で1回の欠席とみなす。

【評価方法】

授業貢献度 10% クイズ 30%
プレゼンテーション 20% 中間・期末試験 40%

【テキスト】

Viva! San Francisco（購入の必要はありません）サブ・テキスト（未定・教室にて指定します）
辞書は必ず携帯すること。

【参考文献】

英語Ⅱ

担当教員 宮城 和文

配当年次 1年

単位区分 選択

関連資格

備考 地域行政学科対象

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語 I

担当教員 新垣 實

配当年次 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

関連資格

備考 経済・地域環境政策・企業システム・産業情報学科・2年次以上対象

【授業のねらい】

英語のspeaking、listeningに関する基礎的な運用能力を養成しその向上を図るとともに、英米の言語習慣や文化などについて学びます。さらに、日本語、英語、沖縄の諺や格言などについて比較し、その文化の類似点・相違点などについて勉強する。

【授業の展開計画】

第1週 Lesson 1
第2週 Lesson 2
第3週 Lesson 3
第4週 Lesson 4
第5週 Lesson 5
第6週 Lesson 6
第7週 Lesson 7
第8週 Lesson 8
第9週 Lesson 9
第10週 Lesson10
第11週 Lesson11
第12週 Lesson12
第13週 Lesson13
第14週 Lesson14
第15週 Lesson15
第16週 まとめ

【履修上の注意事項】

【評価方法】

毎回ペアで対話発表や個人発表をしてその都度評価するとともに、受講態度、宿題、出欠などを総合的に勘案し評価する。

【テキスト】

プリント教材などを準備する。

【参考文献】

英語 I

担当教員 大田 かお里

配当年次 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

関連資格

備考 全学科・2年次以上対象

【授業のねらい】

英語の聴く、話す、読む、書くに関する総合的な能力を高める事を目指す。特に週2回の講義のうち、1回は文法中心、もう1回はリーディング中心で進める。

【授業の展開計画】

文法の授業では英文法の基礎から徹底的に指導、その日習った文法を基に、英文の暗唱や短文を書かせる練習を行う。リーディングの授業ではリーディングの中のモデル文の理解をし、訳を行ったら、今度は逆に日本語訳からもとの英文を組み立てる作業を行う。その一連の作業を通してリーディング・ライティングの基礎の強化をはかる。リーディングの教材は受講生の関心のある政治問題や異文化、また映画など様々な内容を取り上げる。

【履修上の注意事項】

- ①講義には毎回辞書とA-4サイズのクリアフォルダーを必ず持参する事
- ②遅刻2回で欠席1回、20分以上の遅刻は欠席
- ③授業回数の3分の1以上の欠席は不可

【評価方法】

評価は①テスト40%、②小テスト30%、③受講態度30%（出席・積極的参加）

【テキスト】

講義内で指定する

【参考文献】

英語Ⅱ

担当教員 新垣 實

配当年次 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

関連資格

備考 経済・地域環境政策・企業システム・産業情報学科・2年次以上対象

【授業のねらい】

英語Ⅰに引き続き、英語のspeaking、listeningに関する基礎的な運用能力を養成しその向上を図るとともに、英米の言語習慣や文化などについて学びます。さらに、日本語、英語、沖縄の諺や格言などについて比較し、その文化の類似点・相違点などについて勉強する。

【授業の展開計画】

第1週 Lesson 1
第2週 Lesson 2
第3週 Lesson 3
第4週 Lesson 4
第5週 Lesson 5
第6週 Lesson 6
第7週 Lesson 7
第8週 Lesson 8
第9週 Lesson 9
第10週 Lesson10
第11週 Lesson11
第12週 Lesson12
第13週 Lesson13
第14週 Lesson14
第15週 Lesson15
第16週 まとめ

【履修上の注意事項】

【評価方法】

毎回ペアで対話発表や個人発表をしてその都度評価するとともに、受講態度、宿題、出欠などを総合的に勘案し評価する。

【テキスト】

プリント教材などを準備する。

【参考文献】

英語Ⅱ

担当教員 大田 かお里

配当年次 2年

単位区分 選択

関連資格

備考 全学科・2年次以上

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

【授業のねらい】

英語の speaking listening reading writing の総合的な学力向上をめざす。週2回のうち1回は文法中心，残りの1回はリーディング中心に行う。

【授業の展開計画】

文法の授業では英文法の基礎から徹底的に指導，その日習った文法を基に，英文の暗唱や短文を書かせる練習を行う。リーディングの授業ではリーディングの中のモデル文の理解をし，訳を行ったら，今度は逆に日本語訳からもとの英文を組み立てる作業を行う。その一連の作業を通してリーディング・ライティングの基礎の強化をはかる。リーディングの教材は受講生の関心のある政治問題や異文化，また映画など様々な内容を取り上げる。

【履修上の注意事項】

- ①講義には毎回辞書とA-4サイズのクリアフォルダーを必ず持参する事
- ②遅刻2回で欠席1回，20分以上の遅刻は欠席
- ③授業回数の3分の1以上の欠席は不可

【評価方法】

評価は①テスト40%，②小テスト30%，③受講態度30%（出席・積極的参加）

【テキスト】

講義内で指定する

【参考文献】

英語Ⅲ

担当教員 カレン ルパードス

配当年次 2年

単位区分 選択

関連資格

備考 全学科

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

【授業のねらい】

The purpose of this class is not to teach a specific level of language ability but to improve each student's ability to deal with and/or learn English, with the focus of the course being on reading and writing. The course is taught in English, all materials will be in English. The students are expected to refrain from speaking any other language in the classroom.

【授業の展開計画】

- 1-2 Introduction of semester plans and procedures; grade-contracting.
Announcement of rules, requirements, materials & text.
- 3-12 Class activities, both group-based and individual. The second half of each class will be for individual progress in reading and writing so students can progress at their own rate.
- 13-14 Assessment consultation (by appointment or during regular class sessions).
- 15 Class- and self-evaluation; submission of evidence of accomplishments.

【履修上の注意事項】

Students are expected to be self-reliant, responsible, and mutually supportive. Grades reflect students' classroom performance and demonstration of effort to achieve their own goals.

【評価方法】

Students receive their chosen grade only if they fulfill their "contract". Deficiencies can be offset by providing negotiated assistance to the teacher and other students.

【テキスト】

To be announced & explained during registration period. (Variable according to students' abilities and self-determined goals.) Most in-class materials are teacher-produced.

【参考文献】

英語Ⅲ

担当教員 西平 章子

配当年次 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

関連資格

備考 全学科対象

【授業のねらい】

英語のReading and Writingを通して読解力と英作文を練習します。

【授業の展開計画】

- 1週 自己紹介を書く練習
- 2週 テロの脅威から人々の安全を守る術の英文を読んでから自由英作文
- 3週 添削された英文から学ぶ
- 4週 隣人を隔てる様々な壁を読んで自由英作文
- 5週 添削された英文から学ぶ
- 6週 イギリスの歴史が動いた大事件を読んでから自由英作文
- 7週 Reading の内容理解テスト
- 8週 大きなアメリカ、小さなイギリスを読んでから自由英作文
- 9週 添削された英文から学ぶ
- 10週 争いと平和が繰り返すアメリカ史を読んでから自由英作文
- 11週 添削された英文から学ぶ
- 12週 大西洋を渡ったイギリスの名前を読んでから自由英作文
- 13週 添削された英文から学ぶ
- 14週 テキストから何を学べたか自由英作文
- 15週 Reading の内容理解テスト

【履修上の注意事項】

1. 遅刻、欠席はしないようにしてください。欠席届は必ず提出すること。
2. 授業中のおしゃべりは講義妨害のため、退室を命じます。
3. 毎時間英作文を提出しますので、辞書を持参のこと

【評価方法】

テスト40%+英作文40%+受講態度20%=100%+自己評価
 但し、欠席が三分の一の場合は、学則により自動的に評価は「不可」となります。
 優80～100点、良70～79点、可60～69点、不可59点以下

【テキスト】

The UK and the USA Compare and Contrast Terry O' Brien Nan' Un-Do 2010

【参考文献】

英語Ⅲ

担当教員 新城 浪夫

配当年次 2年

単位区分 選択

関連資格

備考 法律学科・地域行政学科対象

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

英文の読解力養成は急務でその目的に沿ったテキストで講義を進める。語彙力の強化は特に大切。

【履修上の注意事項】

毎回英和辞典〔又は電子辞典〕は持参する。意欲的な授業参加を求める。

【評価方法】

中間テスト・期末テスト、出席状況等を基に決める。

【テキスト】

Basic Interactive Reader(前期)

【参考文献】

特に無し

英語Ⅲ

担当教員 小橋川(島袋) 里美

配当年次 2年

単位区分 選択

関連資格

備考 法律・地域行政学科 2年次対象

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語Ⅲ

担当教員 長濱 クリストファ

配当年次 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

関連資格

備考 法律・地域行政学科2年次対象

【授業のねらい】

このクラスでは教科書を詳しく読み解く。まず、各頁の英単語の意味を徹底的に調べて、英文の日本語訳に役立てるようにする。次に、英文の構造理解の為に基礎的文法事項を学習する。品詞の解説、動詞の種類とその働き、文型と文型を決める動詞と名詞・形容詞の接続の仕方及びそれぞれの意味、Be動詞と接続する分詞の種類と接続した場合の英文の意味等々がその基礎事項の主な内容である。尚、英文の読み方と各単語の発音については、Call教室に教科書のCDとテープを用意して、受講者の便宜を計ります。

【授業の展開計画】

- 1週目： 第1課 Jo-Ann introduces herself
- 2週目： 第2,3課 Mother Bailey's Birthday Party
- 3週目： 第4,5課 Choosing a pet for the family
- 4週目： 第6,7課 The New Baby arrives
- 5週目： 第8,9課 Christmas Holidays
- 6週目： 第10,11課 Mother Bailey's funeral
- 7週目： 中間試験
- 8週目： 第12,13課 Announcing the Engagement
- 9週目： 第14,15課 Easter Holidays
- 10週目： 第16,17課 Getting a job
- 11週目： 第18,19課 The Wedding
- 12週目： 第20課 Jo-Ann writes a letter to her boyfriend
- 13週目： ビデオ鑑賞 "Good Will Hunting" or "awakening"
- 14週目： 総まとめ 訳読ノートの提出と英語による自己紹介
- 15週目： 学期末試験

【履修上の注意事項】

受講者は英語Ⅰ、Ⅱを履修していることが望ましい。必辞書携帯。訳読ノートを作成してください。

【評価方法】

試験80%、出席10%、授業への参加10%とする。授業時数の3分の1の欠席は即不可。

【テキスト】

American Life Cycle

【参考文献】

East and West

英語Ⅲ

担当教員 前泊 清美

配当年次 2年

単位区分 選択

関連資格

備考 全学科

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

【授業のねらい】

多読を重ねることにより、英文の大意をつかむ練習をします。英字新聞記事、環境問題関連の書籍の多読を通し、基本的な文法と語彙力の習得を目指しながら、パラグラフリーディングの基礎を構築します。講義で取り上げるリーディングや映画・音楽を通して得た知識を用いて、パラグラフライティングを試み、それを基にし、充実した英語対話の運用能力を鍛える訓練をします。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	Class orientation & film	17	Film
2	Everything Kid' s Environment Book	18	reading, listening, speaking activities
3	Understanding How our Planet Works	19	Toxic Food
4	reading, listening, speaking activities	20	reading, listening, speaking activities
5	Habitats of the World	21	Toxic Food
6	reading, listening, speaking activities	22	reading, listening, speaking activities
7	How We Affect the Environment	23	Review
8	reading, listening, speaking activities	24	reading, listening, speaking activities
9	The Air and Water	25	Review
10	reading, listening, speaking activities	26	reading, listening, speaking activities
11	Organic Farming	27	Reading test
12	reading, listening, speaking activities	28	Writing test
13	Review	29	Conversation test
14	reading, listening, speaking activities	30	Conversation test
15	mid-term 1	31	
16	mid-term 2		

【履修上の注意事項】

- 1) 授業回数の3分の1以上欠席すると、不可となります。
- 2) 遅刻3回、20分以上の遅刻、講義中の居眠りは、欠席となります。
- 3) 講義には毎回辞書、A-4クリアフォルダーを持参すること。
- 4) 課題の予習、リサーチが必須です。毎回クイズを行います。

【評価方法】

講義での貢献度10%、課題20%、クイズ30%、中間・期末テストそれぞれ20%。
80点以上 優、70-79点 良、60-69点 可、59点以下 不可。

【テキスト】

Poisoned Nation, The Everything Kid' s Environment Book, and handouts.

【参考文献】

英語Ⅲ

担当教員 又吉 斎

配当年次 2年

単位区分 選択

関連資格

備考 全学科

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

【授業のねらい】

本講義（英語Ⅲ）では reading に焦点をあて、その効果的な学習方法を検討していきます。特に専門科目（IT・経済・産業分野）とのかみ合いを考慮しながら、より学際的 = interdisciplinary な英語の学習を目指します。又、時々映画や音楽などの文化的なトピックスを取り上げながら、異文化に対する理解と関心を深めることを図ります。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	◎ 講義概要・評価基準等に関する説明TOPIC: 例 [経済と英語]
2	◎ 「読む」ということ: Various Ways of Reading (様々な読み方を通して)
3	TOPIC: 1
4	TOPIC: 2
5	TOPIC: 3
6	◎ 異文化理解: (テーマ未定)
7	TOPIC: 4
8	TOPIC: 5
9	TOPIC: 6
10	◎ 異文化理解: (テーマ未定)
11	TOPIC: 7
12	TOPIC: 8
13	TOPIC: 9
14	※ 学期末テスト (詳細については、後日テスト実施前に説明します)
15	◎ 総まとめ
16	

【履修上の注意事項】

【評価方法】

評価の対象としては、① 期末テスト ② 受講態度（積極的参加や出席状況、受講マナー等）を評価します。尚、評価の割合は次の通りとします [① = 70%, ② = 30%]
 * 期末テストの出題範囲・形式等の詳細については、講義で説明します
 * 出席数が全講義の三分の二に満たない場合は「不可」となります

【テキスト】

指定のテキスト無し — 随時、各テーマに沿った資料を配布します

【参考文献】

随時、必要に応じて紹介する予定です（別紙「参考文献一覧」を配布予定）

英語Ⅲ

担当教員 伊波 清輝

配当年次 2年

単位区分 選択

関連資格

備考 法律・地域行政学科 2年次対象

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

【授業のねらい】

文章のアウトライン作成、要約、英問英答等の教室作業を通して読解力を養うとともに、広くさまざまな分野の英文に慣れさせることを目的とする。読解の過程は パラグラフの内容理解が基本単位であり、パラグラフの概要把握に重点を置く。まず、Readings in Contemporary Culture を使って、パラグラフの要約、全体のアウトライン作成の演習を行う。Economic Issues Facing Japanでは、諸問題を英語で読み、理解することによって国際コミュニケーションに必要な英語力を養成することを目指す。

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

毎時間、教室作業（アウトライン作成）の後提出となるので教室外の自習（予習）が不可欠である。提出は個人単位の場合もあるし、グループ単位（連名）の場合もある。

【評価方法】

出席重視。評価は毎時の提出物と期末テストの総合評価となる。

【テキスト】

1. Readings in Contemporary Culture
2. Economic Issues Facing Japan

【参考文献】

英語Ⅲ

担当教員 ジョニー ハッチャー

配当年次 2年

単位区分 選択

関連資格

備考 全学科

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語Ⅲ

担当教員 森 庸夫

配当年次 2年

単位区分 選択

関連資格

備考 法律・地域行政学科 2年次対象

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語Ⅲ

担当教員 奥間 隆伸

配当年次 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

関連資格

備考 法律・地域行政学科対象

【授業のねらい】

基礎的な英文読解力及び、書く力を総合的に伸ばすことを目指します。そのために英語の文章構成(語句、文など)、や展開法(アイデアの配列)を学びます。その上で必要なreading skills (skimming等)の習得を目指し実生活や専門科目で応用できることを目標としたい。授業では、個人、ペアワーク、グループワークを通じて積極的に英語に触れ、使っていきたい。

【授業の展開計画】

教科書を使って幅広い話題に関連してリーディングを行い(時にはリスニングも)、英語の運用能力を高めていく。そのため、受講者はリーディングに関して単語のチェックなどの予習をすることが求められます。また、講義では様々なタイプの活動(個人、ペアワーク、グループワークなど)を行っていきます。

第1週: 講義の概要説明、英語による自己紹介

第2週～第7週: 各課の学習

第8週: 中間試験

第9週～第15週: 各課の学習

第16週: 期末試験

【履修上の注意事項】

1. 積極的に授業に参加してください。自主的、意欲的な学習態度が必要です。
2. 学則に基づき、3分の1以上欠席のものには単位を認めない。
3. 受講に際しては、教科書、筆記用具、英和・和英辞典を必ず携帯してください。
4. 教室では携帯電話の電源を切ること。

【評価方法】

出席点25%、平常点25%(宿題・小テスト・レポート・授業への参加度)、中間試験25%、期末試験25%の結果により総合的に評価する。授業を全体の1/3以上欠席した学生には単位を与えない。また遅刻3回で欠席1回とみなします。

【テキスト】

Effective Reading Level 1 成美堂 宍戸真 小泉朝子 1300円(税別)

【参考文献】

必要に応じて授業で配布します。

英語Ⅳ

担当教員 カレン ルパードス

配当年次 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

関連資格

備考 全学科

【授業のねらい】

As with English III, the purpose of this class is not to teach a specific level of language ability but to improve each student's ability to deal with and/or learn English, with the focus of the course being on reading and writing. The course is taught in English, all materials will be in English. The students are expected to refrain from speaking any other language in the classroom.

【授業の展開計画】

- 1-2 Introduction of semester plans and procedures; grade-contracting.
Announcement of rules, requirements, materials & text.
- 3-12 Class activities, both group-based and individual. The second half of each class will be for individual progress in reading and writing so students can progress at their own rate. Students may work in group-based tasks if they prefer.
- 13-14 Assessment consultation (by appointment or during regular class sessions).
- 15 Class- and self-evaluation; submission of evidence of accomplishments.

【履修上の注意事項】

Students are expected to be self-reliant, responsible, and mutually supportive. Grades reflect students' classroom performance and demonstration of effort to achieve their own goals.

【評価方法】

Students receive their chosen grade only if they fulfill their "contract". Deficiencies can be offset by providing negotiated assistance to the teacher and other students.

【テキスト】

To be announced & explained during registration period. (Variable according to students' abilities and self-determined goals.) Most in-class materials are teacher-produced.

【参考文献】

英語Ⅳ

担当教員 西平 章子

配当年次 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

関連資格

備考 全学科

【授業のねらい】

英語のReading and Writingを通して読解力と英作文を練習します。

【授業の展開計画】

- 1週 夏休みの思い出を英作文
- 2週 変わりやすく、雨の多いイギリスの天気を読んで自由英作文
- 3週 添削された英文から学ぶ
- 4週 ラグビーやテニス、その由来を読んでから自由英作文
- 5週 添削された英文から学ぶ
- 7週 Reading の内容理解テスト
- 8週 時代と共にかわるイギリスの大学を読んで自由英作文
- 9週 添削された英文から学ぶ
- 10週 イギリスとアメリカ、それぞれの華麗なる世界
- 11週 添削された英文から学ぶ
- 12週 お風呂の楽しさを知らないイギリス人を読んで自由英作文
- 13週 添削された英文から学ぶ
- 14週 テロが大統領を変えたを読んで自由英作文
- 15週 Reading の内容理解テスト

【履修上の注意事項】

1. 遅刻、欠席はしないようにしてください。欠席届は必ず提出すること。
2. 授業中のおしゃべりは講義妨害のため、退室を命じます。
3. 毎時間英作文を提出しますので、辞書を持参のこと

【評価方法】

テスト40%+英作文40%+受講態度20%=100%+自己評価
 但し、欠席が三分の一の場合は、学則により自動的に評価は「不可」となります。
 優80~100点、良70~79点、可60~69点、不可59点以下

【テキスト】

The UK and the USA Compare and Contrast Terry O' Brien Nan' Un-Do 2010

【参考文献】

英語Ⅳ

担当教員 新城 浪夫

配当年次 2年

単位区分 選択

関連資格

備考 法律・地域行政学科対象

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

英文の読解力養成は急務でその目的に沿ったテキストで講義を進める。語彙力の強化は特に大切。

【履修上の注意事項】

毎回英和辞典〔又は電子辞典〕は持参する。意欲的な授業参加を求める。

【評価方法】

中間テスト・期末テスト、出席状況等を基に決める。

【テキスト】

Big Names in American Business(後期)

【参考文献】

特に無し

英語Ⅳ

担当教員 小橋川(島袋) 里美

配当年次 2年

単位区分 選択

関連資格

備考 法律・地域行政学科 2年次対象

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語Ⅳ

担当教員 長濱 クリストファ

配当年次 2年

単位区分 選択

関連資格

備考 法律・地域行政学科 2年次対象

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語Ⅳ

担当教員 前泊 清美

配当年次 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

関連資格

備考

【授業のねらい】

3-5ページほどのエッセイを、辞書、想像力や持てる知識を駆使してできるだけ正確に理解することがこのクラスの達成目標です。環境問題関連の英字新聞記事や書籍を読み、批判力を高め、テキストに関する考察を英文で書く訓練をします。映画や音楽も活用し、リスニング力や英語対話の運用能力の更なるレベルアップを目指します。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	Class orientation & film	17	Film
2	Losing our Wild Treasures	18	reading, listening, speaking activities
3	Garbage & Recycling	19	Breast Cancer Industry
4	reading, listening, speaking activities	20	reading, listening, speaking activities
5	Environmentalism and Green Living	21	Breast Cancer Industry
6	reading, listening, speaking activities	22	reading, listening, speaking activities
7	Ways You Can Help the Environment	23	Deadly Water
8	reading, listening, speaking activities	24	reading, listening, speaking activities
9	Actions to Preserve our Environment	25	Deadly Water
10	reading, listening, speaking activities	26	reading, listening, speaking activities
11	Toxic Chemicals	27	Review
12	reading, listening, speaking activities	28	Reading & Writing test
13	Electro Magnetic Field	29	Conversation test
14	Review	30	Conversation test
15	mid-term 1	31	
16	mid-term 2		

【履修上の注意事項】

- 1) 授業回数数の3分の1以上欠席すると、不可となります。
- 2) 遅刻3回、20分以上の遅刻、講義中の居眠りは、欠席となります。
- 3) 講義には毎回辞書、A-4クリアフォルダーを持参すること。
- 4) 課題の予習、リサーチが必須です。毎回クイズを行います。

【評価方法】

講義での貢献度10%、課題20%、クイズ30%、中間・期末テストそれぞれ20%。
80点以上 優、70-79点 良、60-69点 可、59点以下 不可。

【テキスト】

Poisoned Nation, The Everything Kid's Environment Book, and handouts.

【参考文献】

英語Ⅳ

担当教員 又吉 斎

配当年次 2年

単位区分 選択

関連資格

備考 全学科

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

【授業のねらい】

前期（英語Ⅲ）に引き続き、reading の学習を中心にその効果的な学習方法を検討していきます。特に後期は新聞や雑誌、小説・詩といった様々なテキストにも触れながら、英文を楽しく読み進めていきます。更に後半は英作文の指導を行い、簡易な英語表現を中心に学習します。又、前期同様に映画や音楽などの文化的なトピックスを取り上げながら、異文化に対する理解と関心を深めることを図ります。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	◎ 講義概要・評価基準等に関する説明
2	◎ 「読む」ということⅡ：Various Ways of Reading（様々な読み方を通して）
3	TOPIC: 1
4	TOPIC: 2
5	TOPIC: 3
6	◎ 異文化理解：（テーマ未定）
7	TOPIC: 4
8	TOPIC: 5
9	TOPIC: 6
10	◎ 異文化理解：（テーマ未定）
11	TOPIC: 7
12	TOPIC: 8
13	TOPIC: 9
14	※ 学期末テスト（詳細については、後日テスト実施前に説明します）
15	◎ 総まとめ
16	

【履修上の注意事項】

【評価方法】

評価の対象としては、① 期末テスト ② 受講態度（積極的参加や出席状況、受講マナー等）を評価します。
尚、評価の割合は次の通りとします〔① = 70%, ② = 30%〕
* 期末テストの出題範囲・形式等の詳細については、講義で説明します
* 出席数が全講義の三分の二に満たない場合は「不可」となります

【テキスト】

指定のテキスト無し — 随時、各テーマに沿った資料を配布します

【参考文献】

必要に応じて紹介します

英語Ⅳ

担当教員 伊波 清輝

配当年次 2年

単位区分 選択

関連資格

備考 法律・地域行政学科 2年次対象

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

【授業のねらい】

文章のアウトライン作成、要約、英問英答等の教室作業を通して読解力を養うとともに、広くさまざまな分野の英文に慣れさせることを目的とする。読解の過程は パラグラフの内容理解が基本単位であり、パラグラフの概要把握に重点を置く。まず、Readings in Contemporary Culture を使って、パラグラフの要約、全体のアウトライン作成の演習を行う。English For Lawでは、法律に関する諸問題を英語で読み、理解することによって法律の分野に必要な語彙と英語力を養成することを目指す。

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

毎時間、教室作業（アウトライン作成）の後提出となるので教室外の自習（予習）が不可欠である。提出は個人単位の場合もあるし、グループ単位（連名）の場合もある。

【評価方法】

出席重視。評価は毎時の提出物と期末テストの総合評価となる。

【テキスト】

1. Readings in Contemporary Culture
2. English For Law

【参考文献】

英語Ⅳ

担当教員 ジョニー ハッチャー

配当年次 2年

単位区分 選択

関連資格

備考 全学科

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語Ⅳ

担当教員 森 庸夫

配当年次 2年

単位区分 選択

関連資格

備考 法律・地域行政学科 2年次対象

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語Ⅳ

担当教員 奥間 隆伸

配当年次 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

関連資格

備考 法律・地域行政学科対象

【授業のねらい】

英語Ⅲを基礎に、読み、書く能力の一層の強化を図る。その中で特に速読を実践する。速読における第一目標として70～80%の理解度で、130～150wpm (words per minute)の読解速度を目指し、最終的には200 wpm 程度の読解速度の達成に努めたい。そしてこの授業で学習したことを実生活や専門科目で応用できることを目標とした。授業では、個人、ペアワーク、グループワークなどを通じて積極的に英語に触れ、使っていきたい。

【授業の展開計画】

教科書を使って幅広い話題に関連してリーディングを行ない（時にはリスニングも）、英語の運用能力を高めていく。そのため、受講者はリーディングに関して単語のチェックなどの予習をすることが求められます。また、講義では様々なタイプの活動（個人、ペアワーク、グループワークなど）を行っていきます。

第1週： 講義の概要説明会

第2週～第7週： 各課の学習

第8週： 中間試験

第9週～第15週： 各課の学習

第16週： 期末試験

【履修上の注意事項】

1. 積極的に授業に参加してください。自主的、意欲的な学習態度が必要です。
2. 学則に基づき、3分の1以上欠席のものには単位を認めない。
3. 受講に際しては、教科書、筆記用具、英和・和英辞典を必ず携帯してください。
4. 教室では携帯電話の電源を切ること。

【評価方法】

出席点25%、平常点25%（宿題・小テスト・レポート・授業への参加度）、中間試験25%、期末試験25%の結果により総合的に評価する。授業を全体の1/3以上欠席した学生には単位を与えない。また遅刻3回で欠席1回とみなします。

【テキスト】

Intermediate Faster Reading 成美堂 Casey Malarcher 森田彰 原田慎一1700円（税別）

【参考文献】

必要に応じて講義で配布します。

英語V

担当教員 大城 明子

配当年次 3年

単位区分 選択

関連資格

備考 全学科対象

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

【授業のねらい】

英検2級レベルの英語力を養成し、英語の統合的な実力をつけることを目的とする。

【授業の展開計画】

6月の英検試験をめどに、テキストの進度をすすめていくので注意すること。また、テキストは受講生が割り振られた担当箇所は責任をもって答えと考え方など説明することにします。語彙豆テストは、確実な大量で確実な語彙定着を養うため、20回にわけて行うものです。

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	クラス概要説明、テキスト紹介 他	17	語彙豆テスト13 英検2級対策テキスト、
2	英検2級について、英検2級テキスト	18	語彙豆テスト14 英検2級対策テキスト、
3	ミニ英検2級模擬試験（実力判断）	19	語彙豆テスト15 英検2級対策テキスト、
4	語彙豆テスト1 英検2級対策テキスト	20	語彙豆テスト16 英検2級対策テキスト、
5	語彙豆テスト2 英検2級対策テキスト、	21	語彙豆テスト17 英検2級対策テキスト、
6	語彙豆テスト3 英検2級対策テキスト、	22	語彙豆テスト18 英検2級対策テキスト、
7	語彙豆テスト4 英検2級対策テキスト、	23	語彙豆テスト19 英検2級対策テキスト、
8	語彙豆テスト5 英検2級対策テキスト、	24	語彙豆テスト20 英検2級対策テキスト、
9	語彙豆テスト6 英検2級対策テキスト、	25	期末総点検（テストを含む）
10	語彙豆テスト7 英検2級対策テキスト、	26	Reading Passage、listening演習1 他
11	語彙豆テスト8 英検2級対策テキスト、	27	Reading Passage、listening演習1 他
12	語彙豆テスト9 英検2級対策テキスト、	28	Reading Passage、listening演習1 他
13	語彙豆テスト10 英検2級対策テキスト、	29	英検2級対策テキスト等 補充
14	中間総点検（テストを含む）	30	模擬一次試験（筆記）、16週目はリスニング
15	語彙豆テスト11 英検2級対策テキスト、	31	
16	語彙豆テスト12 英検2級対策テキスト、		

【履修上の注意事項】

○英和・和英辞書必携のこと（辞書抜き打ちチェックをします！） ○積極的に参加はボランティアポイントとして成績評価点で反映されます（ボランティアポイントが7ポイント未満は自動的に不可となりますので注意してください） ○就職活動による講義欠席についての優遇措置はとらない（就活の講義欠席は課題提出により5回までは欠席減点はおこなわない、課題申請は本人がじかに申し出る 等の厳しい規定を設けます。詳しいことはオリエンテーションで説明する）

【評価方法】

定期テスト、語彙豆テスト、発表、ボランティアポイント、減点（遅刻、欠席、内職、睡眠、態度不良等）すべてを合計した上で評価します。

【テキスト】

講義概要説明時にテキストは紹介し、購入を求めます。

【参考文献】

英語VI

担当教員 津波 聡

配当年次 3年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

関連資格

備考 全学科対象

【授業のねらい】

ペアドリルやスピーチを通して英検準1級レベルの英語力を身につける

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	Orientation	17	Vocabulary & Speaking 12
2	Vocabulary & Speaking 1	18	Vocabulary & Speaking 13
3	Vocabulary & Speaking 2	19	Vocabulary & Speaking 14
4	Vocabulary & Speaking 3	20	Vocabulary & Speaking 15
5	Vocabulary & Speaking 4	21	CALL STEP Test Mode 1
6	Vocabulary & Speaking 5	22	Reading 1
7	Vocabulary & Speaking 6	23	Reading 2
8	Vocabulary & Speaking 7	24	Reading 3
9	Vocabulary & Speaking 8	25	Reading 4
10	Vocabulary & Speaking 10	26	Reading 5
11	CALL STEP Test Mode 1	27	Reading 6
12	Review	28	Reading 7
13	Vocabulary & Grammar 4	29	CALL STEP Test Mode 2
14	Reading Comprehension 4	30	Review
15	Listening & Speaking 4	31	
16	Vocabulary & Speaking 11		

【履修上の注意事項】

- (1) 講義はできるだけ英語を使用する（学生も英語を積極的に使うことが望まれる）
- (2) 指定された席に座る
- (3) 無断欠席、遅刻をしない *遅刻2回で欠席1回とみなす

【評価方法】

授業態度、出席状況、自主学習を総合的に評価する

【テキスト】

大学生の英検対策総合演習（KINSEIDO）

【参考文献】

授業の中で連絡する

英語Ⅶ

担当教員 柴崎 礼士郎

配当年次 3年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

関連資格

備考

【授業のねらい】

TOEIC対策を中心とした総合的な英語力の上達を狙いとする。TOEICの試験形式に慣れることは勿論、語彙力・表現力の向上も図っていく。積極的な参加を期待している。TOEICの試験は、本試験・Bridge試験にかかわらず、良い得点は履歴書にも書け見栄えも良いです。本学「外国語センター」で試験申込等の情報は入手可能です。是非、この機会に得点を上げておきましょう。

【授業の展開計画】

第1-16週： TOEIC総合演習

- ・単語・表現テスト
- ・リスニング
- ・ディクテーション
- ・リーディング
- ・その他

【履修上の注意事項】

特になし。ただし単語・表現クイズは毎回行う。

★★Apple iPod や SONY walkman などを持っている人は持参して下さい★★

【評価方法】

①出席率 ②単語・表現クイズ ③課題 ④中間期末テスト ⑤授業態度

【テキスト】

現在選定中につきTBA。開講時に指示します。参考文献に挙げたテキストはいずれも良いです。是非参考に！

【参考文献】

秋葉利治・森秀夫 2000『英単語・熟語ダイアログ1800 CD3枚つき』旺文社. ¥2,300 (税別)
鶴田知佳子・柴田真一 2008『世界を動かすトップの英語 CD付』コスモピア. ¥2,100 (税別)

英語Ⅷ

担当教員 山本 直子

配当年次 3年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2.0

関連資格

備考 全学科対象

【授業のねらい】

この授業では、TOEFLの試験問題に取り組みながら総合的に英語力を伸ばすことを目指す。まず始めに、TOEFLの問題演習によって試験形式に慣れ出題の傾向をつかめるようにする。次に、TOEFLの問題以外の様々な教材を用いてリスニングとリーディングの力を伸ばす。また、学期の後半にはライティングとスピーキングにも取り組み、英語による表現力の向上を図る。

【授業の展開計画】

第1週

授業説明、TOEFLについての説明

第2週～7週

1. TOEFL問題演習と解説
2. リスニング演習（ディクテーション、英問英答、英語の対話や講義などのリスニング問題）
3. リーディング演習（TOEFLの長文問題や様々なテーマについての英文読解）

第8週 中間テスト

第9週～15週

1. TOEFL問題演習と解説
2. リスニング演習（ディクテーション、英問英答、英語の対話や講義などのリスニング問題）
3. ライティング演習（英語のライティングの基礎を学び、エッセイを書く練習をする）
4. スピーキング演習（意見の述べ方や話の要約の仕方を学ぶ）

第16週 学期末テスト

【履修上の注意事項】

1. 授業に英和辞典を持ってくること。
2. 欠席は全授業回数の3分の1を超えないようにすること。
3. 遅刻2回で欠席1回の扱いになる。

【評価方法】

中間テスト40%、期末テスト40%、提出課題10%、出席・授業参加10%

【テキスト】

プリントを配布する。

【参考文献】